

第109期 株主通信

2018年4月1日から2019年3月31日まで



キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー (金属素形材事業)



キタガワ サン テック カンパニー (産業機械事業)



キタガワ グローバル ハンド カンパニー (工作機器事業)

証券コード:6317

株式会社北川鉄工所 https://www.kiw.co.jp/

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より、格別のご支援を賜わり、有難く厚くお礼申しあげます。

当社グループは2019年3月31日を もちまして第109期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)が終了いたし ましたので、当連結会計年度の事業概 況についてご報告申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益が堅調に推移したことを背景に設備投資の増加や雇用環境の改善が行われ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外においても、米中間の貿易摩擦や英国のEU離脱問題、中国経済の景気減速等の影響により依然として先行きは不透明感が感じられるものの、世界経済全体としては概ね堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループでは、昨年4月より社内カンパニー

制による事業運営を開始いたしました。 各カンパニーへ権限を委譲して、経営 人材の育成や商品開発、生産性の改善 等を積極的に行い、各事業の更なる成 長を促進することによって、収益の確 保に取り組んでまいりました。

当期の配当につきましては、中間45円、期末45円、合計1株当たり90円とさせていただきます。

経営成績の概要

(単位:百万円)

	弗 I U8期	弗 I U9期	瑁减
売上高	56,051	60,339	4,288
セグメント内訳			
KMT	26,699	29,202	2,503
サンテック	16,906	18,308	1,402
グローバルハンド	12,445	12,812	367
営業利益	4,484	5,463	979
セグメント内訳			
KMT	979	1,590	611
サンテック	1,966	2,165	199
グローバルハンド	2,469	2,627	158
全社費用	▲931	▲835	96
経常利益	5,152	5,932	780
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,492	3,854	362



次期の見通しにつきましては、国内の経済状況は、依然として企業の設備投資に対する意欲は高く、とりわけ労働力不足を背景にした省力化や合理化を実現するための投資を中心に底堅く推移するため、設備投資の大幅な落ち込みはないものと考えております。しかしながら、海外では、米中間の貿易摩擦や米国の政策動向、英国のEU離脱問題等の地政学的リスクが継続し、依然として先行きの不透明な状況が続くと思われます。

このような状況のもと、昨年4月より導入した社内カンパニー制による経営を強化し、更なる各カンパニーの成長、経営人材の育成、商品開発等顧客価値創造力の向上を目指します。また、各生産拠点の生産性の向上や品質改善に取り組み、計画利益の確保に努めてまいります。

従いまして、次期(2020年3月期)の 業績予想につきましては、売上高は 63,000百万円、経常利益は5,500百万 円、親会社株主に帰属する当期純利益 は3,900百万円を見込んでおります。

株主のみなさまには引続きご理解と ご支援を賜わりますとともに、今後と も末永くご愛顧をいただきますようお 願い申しあげます。

2019年6月



代表取締役会長兼社長 北 川 祐 佑

トピックス ①

キタガワ グローバル ハンド カンパニー 新製品のご紹介 次世代標準チャックBRシリーズ 誕生

キタガワ グローバル ハンド カンパニーの主力商品であるスタンダードチャックは国内6割という大きなシェアを確保しています。現主力のB-200シリーズは32年前(1986年)に開発されました。工作機械業界では次々と新商品が発表される昨今、30年以上前に設計された商品が現役であるということは凄いことです。この間、進歩がなかったというよりも商品としての完成度が高かったと自負しております。

このkitagawaの代名詞であるスタンダードチャックが、「次世代標準チャックBRシリーズ」として生まれ変わりました。これまでの標準チャックではソフトジョー成形直後の把握精度(ワーク振れT.I.R.) は0.02mm以下が一般的でしたが、BRチャックの把握精度は0.01mm以下という高精度を実現しました。これだけでも大きな改善ですが、さらにオプションの「Tナット-Plus」を使用すると、ソフトジョーを脱着しても0.01mm以下を維持することができ、再成形が不要になります。これは画期的なイノベーションです。

他社にはないこの新機種の性能を十分にPRして、日本国内のみならず欧州をはじめとする海外市場でもシェアアップを目指します。



次世代標準チャック BRシリーズ



セグメント別の概況

キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー (金属素形材事業)

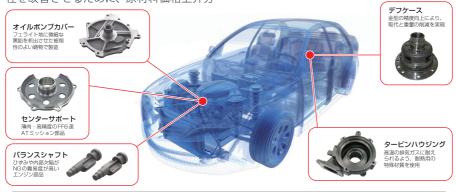
第108期 第109期 対比 売上高 26,699 29,202 9.4%増 営業利益 979 1,590 62.4%増

自動車関連業界におきましては、2018年の世界新車販売台数は、前年比0.5%減の9,479万台となり、2009年以降で初めて通年販売台数が前年割れとなりましたが、高水準で推移しました。また、建設・農機関連業界につきましては、欧米では堅調な需要を背景にして、建設機械・トラクタ・エンジン部品の生産は揃って増加しましたが、アジアではタイの農業機械やインドのトラクタの需要が増加したものの、中国における農業機械の需要が大幅に減退したため、アジア地域では前年を下回りました。

このような状況のもと、当事業におきましては、既存顧客の海外展開への対応を含めた顧客の部品需要に対する当社シェアの拡大と当社の強みである素材と加工の一貫生産を活かした高付加価値製品の新規受注活動に注力してまいりました。また、収益性を改善させるために、原材料価格上昇分

の販売価格への転嫁、不良の低減・歩留り 改善等による生産効率の改善、調達コスト の削減等を継続してまいりました。生産体 制につきましては、国内では昨年8月より 福山工場へ新設した加工棟を本格的に稼働 させ、新規受注したトランスミッション部 品の量産を開始し、同年12月より更なる増 産要請に対応するために2次加工ラインを 立ち上げました。海外ではメキシコ子会社 において鋳造2次ラインの量産を開始しま した。これによって、日本・タイ・メキシ コのグローバル拠点間の生産負荷調整と設 備の有効活用が可能となり、拠点間の相互 補完供給体制を確立することができました。

これらの取り組みによって、自動車トランスミッション部品を中心とした自動車関連事業及び建設・農機関連事業ともに年間を通して概ね好調を維持しました。



事業内容

生型鋳造・ロストワックス精密鋳造・エバフォーム鋳造等及び鋳物素材をベースとした 機械加工品および組立完成品(自動車部品、各種機械部品)

セグメント別の概況

キタガワ サン テック カンパニー (産業機械事業)

国内の建設業界におきましては、国土交通省の統計調査によると、2018年度は前年度と同水準で推移しているなかで、鉄筋工(土木)をはじめ多くの職種で建設技術者が不足しており、労務費の高騰や工期遅れが続きました。

このような状況のもと、当事業におきましては、業務効率や生産効率の改善施策やカンパニー制に移行したことによる事業運営が効果的に機能したことにより、収益の改善に取り組むことができました。コンクリートプラント及び関連設備事業では、前年度の受注残物件の減少により工事件数が前年比で減少しましたが、改造工事やメン

			単位:百万円
	第108期	第109期	対比
売上高	16,906	18,308	8.3%增 🚜
営業利益	1,966	2,165	10.1%增 🚜

テナンスサービスが堅調に推移しました。 荷役機械関連設備事業では、都市部の再開 発向け大型クレーンと集合住宅向け小型ク レーンが年間を通して堅調に推移しました。 環境関連機器事業では、廃棄物の分野を中 心に堅調に推移しました。自走式立体駐車 場事業は、商業施設や遊興施設等の大型物 件の納入が集中したことによって、前年度 の売上を大幅に上回りました。



▲自走式立体駐車場



▲ビル建設用タワークレーン

事業内容

コンクリートプラント、コンクリートミキサ(商品名:ジクロスNEO等)、環境関連設備(商品名:ペレガイア等)、リサイクルプラント、建築用ジブクレーン(商品名:ビルマン)、自走式立体駐車場(商品名:アスペル)



キタガワ グローバル ハンド カンパニー

(工作機器事業)

			単位:百万円
	第108期	第109期	対比
売上高	12,445	12,812	2.9%增 🚜
営業利益	2,469	2,627	6.4%增 📜

工作機械業界におきましては、一般社団法人日本工作機械工業会の統計では、2018年度の工作機械受注総額は1兆6,891億円(前期比5.1%減)となりました。内需は補助金等の政策効果の影響もあり7,033億円(前期比2.2%増)、外需は自動車産業向けは堅調に推移したものの中国市場のEMS(電子機器製造受託サービス)の終息による影響によって9,857億円(前期比9,8%減)となりました。

このような状況のもと、当事業におきましては、受注増加や納期短縮に対応するために生産人員の確保や主要部品の調達の増強に努めてまいりました。また、昨年11月に開催されたJIMTOF2018や本年1月に開催された第3回ロボデックスロボット開発・活用展へ次世代標準チャックBRシリーズやニッ爪の薄型グリッパ(ロボットハンド)等多くの新商品を出展し、新商品開発へ積極的

に取り組んでまいりました。これらの取り 組みによって、国内の業績につきましては、 工作機械メーカー向け、一般ユーザー向け とも堅調に推移しました。海外の業績につ きましては、中国市場は軟調に推移したも のの欧米市場の落ち込みがなかったため、 概ね堅調に推移しました。



新型パワーチャック





事業内容

旋盤用チャック、油圧回転シリンダ、NC円テーブル、パワーバイス、ワークグリッパ、グリッパ(商品名: Promano)、特殊工作機械

連結決算の概要





財務諸表

連結貸借対照表

区分	前連結会		当連結会		₩ A	前連結会 (2018年3		当連結会 (2019年3	
区 刀	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	区分	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	36,128	50.4	37,962	51.7	流動負債	22,832	31.9	24,984	34.0
固定資産	35,504	49.6	35,490	48.3	固定負債	12,627	17.6	10,839	14.8
有形固定資産	28,248		28,633		負債合計	35,459	49.5	35,823	48.8
無形固定資産	493		503		(純資産の部)				
投資その他の資産	6,762		6,354		株主資本	32,296	45.1	35,003	47.7
					その他包括利益累計額	2,538	3.5	1,270	1.7
				·	非支配株主持分	1,339	1.9	1,355	1.8
				·	純資産合計	36,173	50.5	37,629	51.2
資産合計	71,633	100.0	73,453	100.0	負債純資産合計	71,633	100.0	73,453	100.0

⁽注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結損益計算書

区分	前連結会 計 (自 2017年4月 至 2018年3月	1日 \	当連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)		
	金額 (百万円)	百分比(%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	56,051	100.0	60,339	100.0	
売上総利益	10,944	19.5	11,737	20.9	
営業利益	4,484	8.0	5,463	9.7	
経常利益	5,152	9.2	5,932	10.6	
税金等調整前当期純利益	5,014	8.9	5,873	10.5	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,492 6.2		3,854	6.9	

⁽注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日	当連結会計年度 自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,558	4,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,031	△4,333
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,060	△2,830
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	△37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	450	△2,467
現金及び現金同等物の期首残高	9,526	9,977
現金及び現金同等物の期末残高	9,977	7,509

⁽注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

会社の概況 (2019年6月21日現在)

商号株式会社北川鉄工所 Kitagawa Corporation

本店所在地 〒726-8610 広島県府中市元町77-1

創 業 1918年3月

設 立 1941年11月28日

資本金 86億4千万円

従業員数 1,364名(2019年3月31日現在)

Network





役	員	代表取約	命役会長兼社長	北川	祐治	取締役	執行役員	宇田	育造
		代表取約	帝役副社長	北川	宏	取締役		沼田	治
		取締役	常務執行役員	北川田	3出夫	取締役		内田	雅敏
		取締役	常務執行役員	畑島	敏勝	常勤監査	全 役	河村	光二
		取締役	常務執行役員	栗本	和昌	監査役		貝原	潤司
		取締役	執行役員	佐藤	靖	監査役		平	浩介

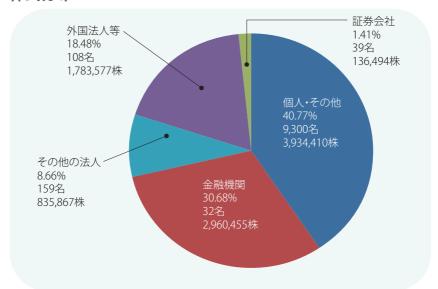
(注)1取締役沼田治、内田雅敏は社外取締役かつ独立役員であります。 2監査役河村光二、貝原潤司、平浩介は社外監査役かつ独立役員であります。



株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 普通株式 30,800,000株 発行済株式の総数 普通株式 9,650,803株 株主数 9,638名

株式分布



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	543	5.80
北川鉄工所みのり会	530	5.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	475	5.08
株式会社広島銀行	446	4.76
みずほ信託銀行株式会社	230	2.46
GOVERNMENT OF NORWAY	214	2.29
(常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)		
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	198	2.12
(常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)		
北川鉄工所自社株投資会	180	1.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 5)	179	1.92
朝日生命保険相互会社	171	1.83
(注) 1 当社は自己株式 (286 360株)を保有しておりますが、上記大株主から除いておりま	₫.	



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から毎年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当基準日 配当金受領株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
単元未満株式の 買取及び買増	単元未満株式(1株〜99株まで)の買取及び買増のご請求は下記のお取扱店でお取扱いいたします。単元未満株式を証券会社の口座に振替えられた株主様はお取引の証券会社にて取扱いいたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	ホームページに電子公告しますが、やむを得ない事由によって電子公告出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。 アドレス https://www.kiw.co.jp/

	証券会社に口座を お持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)	
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	
電話お問い合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)	
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットプース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店(*) (*)トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了 承ください。	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください		
ご注意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」の郵 便物送付先・電話お問合せ 先・各種手続お取扱店をご 利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買 増以外の株式売買はできません。証券会 社等に口座を開設し、株式の振替手続を 行っていただく必要があります。	

トピックス ②

インドにおける生産拠点新設に関するお知らせ

インドは豊富な労働力を背景に堅調な経済成長が続けており、自動車をはじめ、医療機器や食品加工などの市場の拡大に伴い、工作機械の需要も高まっています。当社においてもインドを重要戦略エリアと定め、インドに新たな工作機器事業関連の生産拠点を設けます。これによって、現地のOEMメーカー向けの供給力を高めるとともに、現地の技術力を強化することで、お客様のニーズにお応えできる体制を構築して総合的にkitagawaブランドを高めてまいります。

この生産拠点は、当社持分法適用子会社Kitagawa Europe Ltd. (当社50%出資)の子会社であるKITAGAWA INDIA PVT LTD. により建設、運用いたします。

所 在 地 インド カルナータカ州 バンガロール ボマサンドラ

事業内容 チャックの製造

建設完了 2019年9月

生産開始 2019年11月(予定)

投資金額 4億円

生産計画 6,000台(2022年度の見込み) 売上計画 10億円(2022年度の見込み)



福山工場 中子棟新設に関するお知らせ

マテリアルテクノロジーカンパニーでは、8速AT用のフロントサポートを福山工場にて本格的に生産開始いたしました。現在、環境規制の影響を受け、8速ATの需要が急速に高まり、順調に受注量が増加しています。このフロントサポートの鋳物部品である中子の安定供給とコスト削減を目的として、内製化を計画しており、3月に中子棟を新

設いたしました。新設された中子棟は、 中子の月産能力40,000個を有する工場 となります。

今後、生産設備を整え、本格生産に 向けて準備し、引き続き高品質かつ低コ ストの製品を提供してまいります。





社会貢献活動

当社では日頃地域の方々へお世話になっている感謝の気持ちを込めて、毎年継続して社会貢献活動を行っています。

昨年度も全国の事業所・工場の社員が42チームに分かれ、地域の清掃をはじめとして、 紙芝居の読み聞かせや学校遊具のペンキ塗り替えなど、様々な形で社会貢献活動を実施しました。

今後も地域・社会とともに継続して発展していくため、同様の取り組みに継続して取り組んでまいります。



幼児・児童向けの紙芝居読み聞かせ (広島県府中市)



地元小学校の遊具のペンキ塗り替え (和歌山県橋本市)

また、平成30年7月豪雨により当社本店所在地である広島県府中市も被害を受けており、"天然のウォータースライダー"として有名な「三郎の滝」に流れ込んだ土砂の撤去作業など災害復旧作業に取り組みました。「少しでも早く復旧して、子どもたちが夏休みの思い出をつくる場所に戻れば」との思いで活動し、早期復旧に貢献できたことをうれしく思います。



流れ込んだ土砂をバケツリレーで撤去



デッキ(ステージ)の鉄骨を元の位置に戻す



株式会社北川鉄工所 Kitagawa Corporation

〒726-8610 広島県府中市元町77-1

77–1, Motomachi, Fuchu-shi, Hiroshima, 726–8610 Japan Tel. (0847) 45–4560 (代) Fax. (0847) 45–0589

■営業拠点

仙 台	仙台市若林区大和町4-15-13	〒984-0042	Tel. (022) 232 - 6732 (代)	Fax. (022) 232 - 6739
東京	さいたま市北区吉野町1-405-1	₹331-9634	Tel. (048) 666 - 5650 (代)	Fax. (048) 663 - 4678
	東京都台東区元浅草2-6-6 東京日産台東ビル8階	〒111-0041	Tel. (03) 3844 - 7101 (代)	Fax. (03) 3844 - 7134
名古屋	名古屋市中川区上高畑2-62	₹454-0873	Tel. (052) 363 - 0371 (代)	Fax. (052) 362 - 0690
大 阪	大阪市住之江区北加賀屋3-2-9	〒559-0011	Tel. (06) 6685 - 9065 (代)	Fax. (06) 6684 - 2025
広島	広島市南区東雲1-23-15 ロイヤルビル3-103号	₹734-0022	Tel. (082) 283 - 5133 (代)	Fax. (082) 285 - 8830
九州	福岡市博多区板付7-6-39	₹812-0888	Tel. (092) 501 - 2102 (代)	Fax. (092) 501 - 2103